



Peregrine | InfraCenter
はじめに



© Copyright 2002 Peregrine Systems, Inc.

All rights reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems®およびInfraCenter for Workgroups®は、Peregrine Systems, Inc.の登録商標です。

Peregrine Systems®, ServiceCenter®, FacilityCenter®, およびRemedy® Help Desk™は、Peregrine Systems, Inc.またはその子会社の登録商標です。

本製品はApache Software Foundation (<http://www.apache.org>) により開発されたソフトウェアを含みます。

本製品は、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org>)、およびAdvantys (<http://www.advantys.com>) により開発されたソフトウェアを含みます。また、本製品には、Sun Microsystems, Inc.、Netscape Communications Corporation、Original Reusable Objects, Inc.、およびJean-Marc Lugin (個人) により開発されたソフトウェアも含まれています。

本書で説明されているソフトウェアは、Peregrine Systems, Inc.とエンドユーザ間で締結されるライセンス契約に基づいて提供されます。契約の条項に従って、ソフトウェアを使用する必要があります。Peregrine Systems, Inc.は、本書の内容については一切の責任を負いかねます。また、本書の内容が予告なく変更されることもあります。本書の最終バージョンの日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問合せください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systemsのカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc_comments@peregrine.com) までお寄せください。

本書の内容は、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.2.0に適用されます。

InfraCenter for Workgroups

Peregrine Systems, Inc.
Worldwide Corporate Campus and Executive Briefing Center
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
Tel 800.638.5231 or 858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com



目次

概要	7
本マニュアルの対象ユーザ	7
本マニュアルの使用目的	7
1. アーキテクチャ	9
2. はじめてのインストール	17
最適環境	17
InfraCenter for Workgroups の各アプリケーションをインストールする	18
3. 旧バージョンからのマイグレーション	21
InfraCenter for Workgroups 2.0.1からバージョン4.2.0へのマイグレーション	21
InfraCenter for Workgroups 3.0.0からバージョン4.2.0へのマイグレーション	21
4. 導入	23

図の一覧表

1.1. InfraCenter for Workgroups - アーキテクチャ	11
1.2. InfraCenter for Workgroups - コンピュータのリモートコントロール	12
1.3. InfraCenter for Workgroups - 導入	14

概要

序文

本マニュアルの対象ユーザ

本マニュアルはInfraCenter for Workgroupsを使用する全企業を対象に書かれています。

本マニュアルの対象読者は以下のとおりです。

- InfraCenter for Workgroupsのインストール担当者
- InfraCenter for Workgroupsの全体像を把握する必要があるユーザ

本マニュアルの使用目的

本マニュアルの内容は以下のとおりです。

- InfraCenter for Workgroupsアプリケーションのアーキテクチャ
- InfraCenter for Workgroupsをはじめてインストールする方法
- 旧バージョンのInfraCenter for Workgroupsからバージョン4.2.0へのマイグレーション方法
- InfraCenter for Workgroupsの導入手順

1 | アーキテクチャ

InfraCenter for Workgroupsは、ライフサイクルを通じた企業資産の管理を可能にするソフトウェアスイートです。

InfraCenter for Workgroupsは、以下の統合アプリケーションから構成されています。

- AssetCenter
AssetCenterには、データベースおよび複数のプログラムが含まれています。AssetCenterでは以下のような内容を管理することができます。
 - 調達
 - 契約
 - ヘルプデスク
 - メンテナンス
- Connect-It
Connect-Itは、InfraCenter for Workgroupsを構成するアプリケーション間の統合の一部を管理します。
- Desktop Administration Server
Desktop Administration Serverは、AssetCenterクライアントから起動される導入ワークフローのインスタンスを実行します。
- Remote Control

Remote Controlでは、AssetCenterクライアントから直接、またはRemote ControlのManagerコンポーネント経由で、リモートコンピュータをコントロールすることができます。

- Desktop Agents

Desktop Agentsには、クライアントコンピュータにインストールされるエージェントが含まれています。これにより、クライアントコンピュータはRemote ControlおよびDesktop Administrationと対話できるようになります。

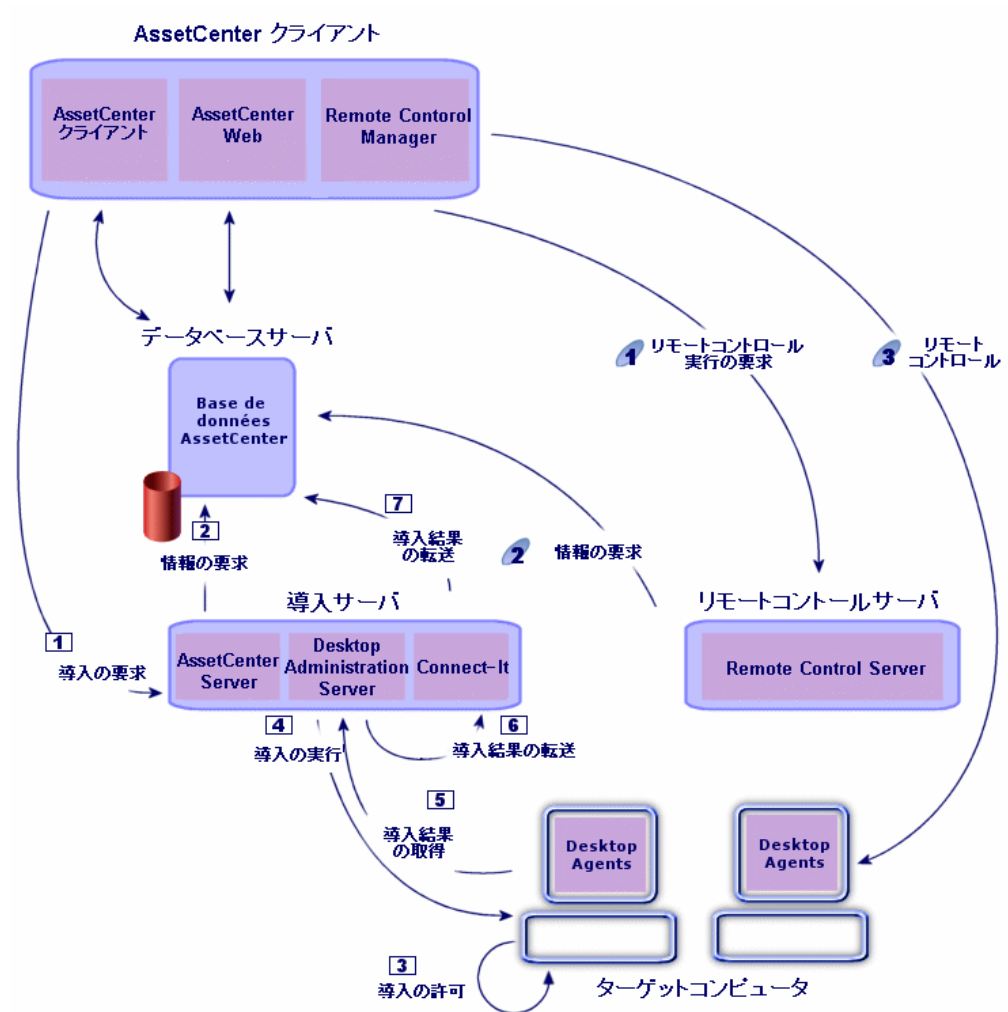
Desktop Agentsにはメッセージ/ニュースエージェントも搭載されています。

- AssetCenter Web

AssetCenter Webは、InfraCenter for Workgroupsクライアントをコンピュータにインストールせずに、InfraCenter for WorkgroupsデータベースおよびInfraCenter for Workgroups機能にWEBブラウザ経由でアクセスすることを可能にします。

以下の図は、InfraCenter for Workgroupsを構成するアプリケーションがどのように統合されているのかを示しています。

図 1.1. InfraCenter for Workgroups - アーキテクチャ



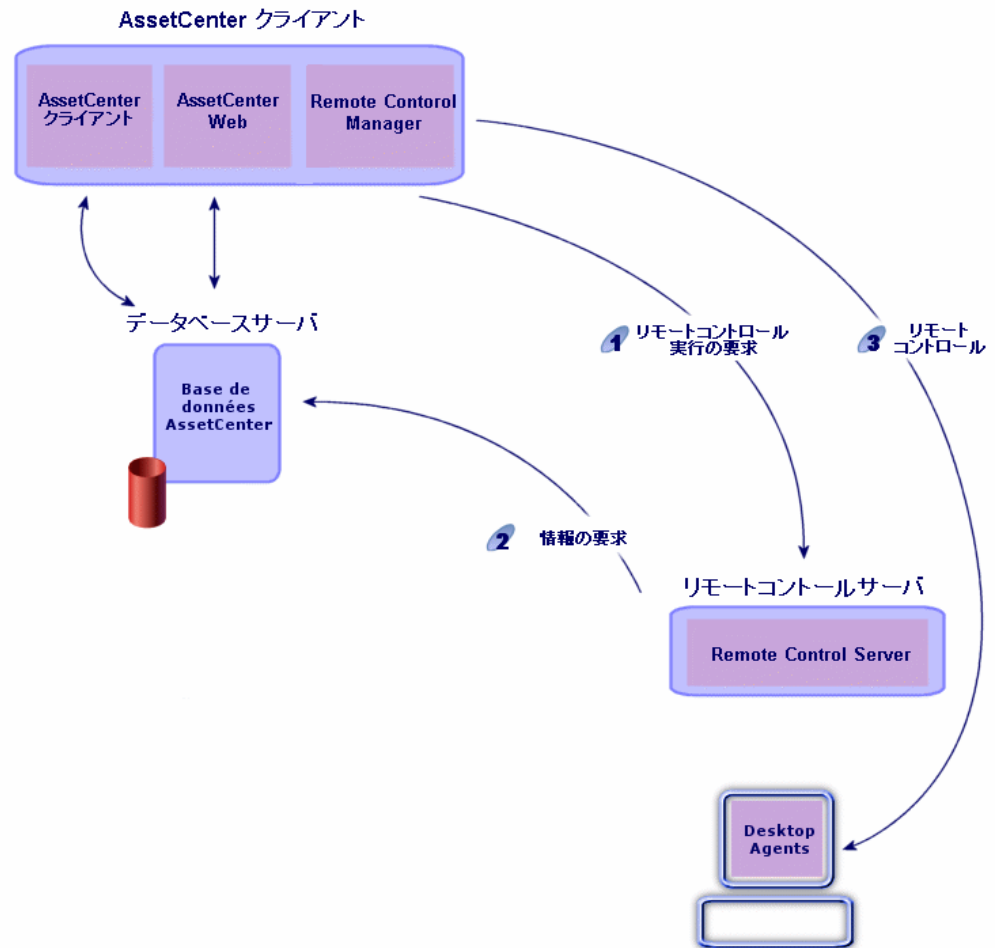
AssetCenterによる資産管理

AssetCenterデータベースは、コンピュータの詳細情報などのあらゆるデータを格納します。

AssetCenterクライアントおよびAssetCenter Webは、AssetCenterデータベースにアクセスするためのインターフェースとなります。

Remote Controlによるコンピュータのコントロール

図 1.2. InfraCenter for Workgroups - コンピュータのリモートコントロール



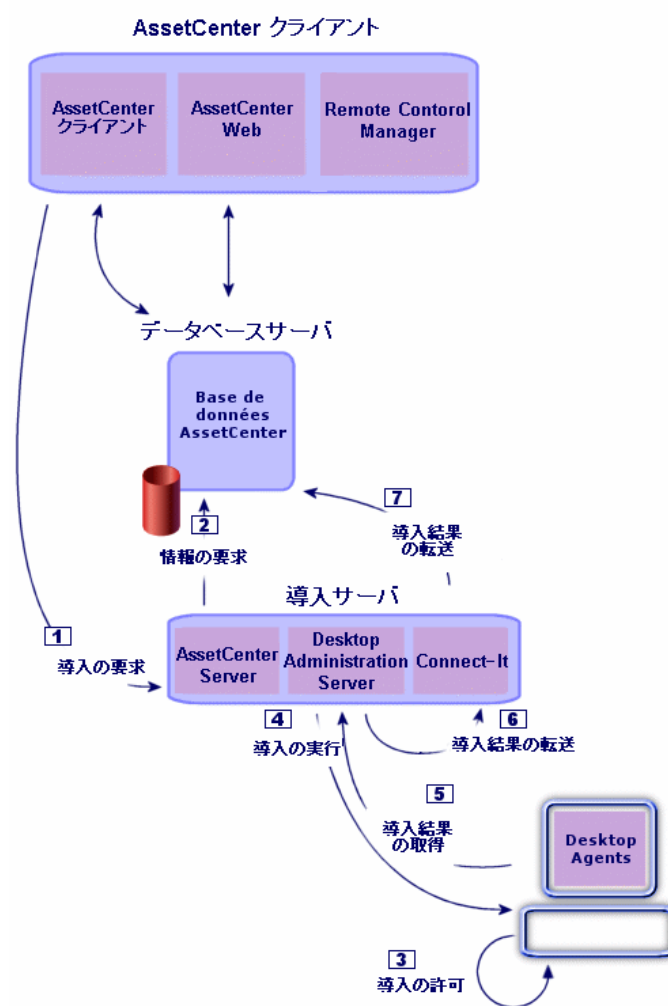
Remote ControlのManagerコンポーネントは、ターゲットコンピュータをコントロールするためのコンソールの役割を果たします。
 リモートコントロールの実行手順は以下のとおりです。

- 1 Managerコンポーネントはターゲットコンピュータのリモートコントロール用サーバへコントロール要求を送信します。
- 2 サーバはターゲットコンピュータに関する情報を取得します。
- 3 Managerコンポーネントはターゲットコンピュータに対してリモートコントロールを実行します。

Desktop Administrationによる導入操作

導入操作の例として、ターゲットコンピュータのグループに対して実行するスキャンなどがあります。スキャンを実行する場合、Desktop InventoryやInfraTools Desktop Discoveryを使用します。

図 1.3. InfraCenter for Workgroups - 導入



導入操作では、以下のコンピュータが使用されます。

- コンソールの役割を果たすInfraCenter for Workgroupsクライアント。InfraCenter for Workgroupsクライアントでは、導入ワークフローチャートを作成し、使用する導入サーバと導入ワークフローのインスタンスを宣言します。これらのオブジェクトはそれぞれInfraCenter for Workgroupsデータベースに格納されています。

- 導入サーバ。InfraCenter for Workgroupsデータベースに格納されたターゲットコンピュータのリストに対して導入ワークフローのインスタンスを実行します。
- 導入ターゲット。導入の対象となるコンピュータのことを指します。InfraCenter for Workgroupsデータベース内でターゲットコンピュータを宣言することにより、管理コンソールおよび導入サーバはターゲットコンピュータにアクセスできるようになります。Desktop Agentsエージェントをターゲットコンピュータにインストールしておく必要があります。

導入操作の手順は以下のとおりです。

- 1 AssetCenterクライアントは導入サーバへ導入要求を送信します。
- 2 導入サーバはターゲットコンピュータに関する情報を取得します。
- 3 AssetCenterクライアントの秘密キーとターゲットコンピュータの公開キーが適切である場合、ターゲットコンピュータは導入を許可します。
- 4 導入サーバはターゲットコンピュータに対して導入を実行します。
- 5 導入サーバはターゲットコンピュータから導入の結果を取得します。
- 6 / 7 Connect-Itを使って、Desktop Administration ServerデポからAssetCenterデータベースへ導入結果を転送します。

2 | はじめてのインストール

最適環境

InfraCenter for Workgroupsを最適な環境で使用するための必要条件是、以下のとおりです。

- NTドメインに集められたコンピュータグループがある。
- TCP / IP接続のIDesktop Agentsエージェントがインストールされている。
- Windows NT上にConnect-Itがインストールされている。

上記の環境では、InfraCenter for Workgroupsアプリケーションのすべての機能が動作します。

InfraCenter for Workgroupsアプリケーションのサブコンポーネントの中には、上記の環境以外の環境をサポートするものがあります。サポート可能な環境の一覧については、InfraCenter for Workgroupsアプリケーションのインストールガイドを参照してください。

InfraCenter for Workgroups の各アプリケーションをインストールする

AssetCenter Webを除くInfraCenter for Workgroupsコンポーネントはすべて、共通のインターフェイスからインストールできます。AssetCenter Webは、別のインストール用CD-ROMからインストールします。

各アプリケーションのインストール方法については、以下のマニュアルを参照してください。

コンポーネント	マニュアル名
AssetCenter	AssetCenterのマニュアル『インストール』
Connect-It	Connect-Itの『ユーザガイド』、『インストール』の章
Desktop Administration Server	AssetCenterのマニュアル『Desktop Automation』、『Implementing the Desktop Administration module』の章、『Installation』の節、『Installing the deployment server』の項
Desktop Agents	AssetCenterのマニュアル『Desktop Automation』、『Implementing the Desktop Administration module』の章、『Installation』の節、『Installing the agents』の項
Remote Control	Remote Controlの『ユーザガイド』、『インストール』の章
AssetCenter Web	マニュアル『AssetCenter Web』

以下の表は、どのコンピュータにどのコンポーネントをインストールする必要があるのかを示しています。

コンピュータ	インストールするアプリケーション	インストールするアプリケーションコンポーネント (推奨)
AssetCenter クライアント	AssetCenter	AssetCenter Serverを除く全コンポーネント
	Remote Control	Remote Control Manager
データベースサーバ		インストールする必要のあるコンポーネントはありません。 ただしAssetCenterデータベースを作成する必要があります。
導入サーバ	Desktop Administration Server	全コンポーネント
	Connect-It	全コンポーネント
	AssetCenter	AssetCenter Server
Remote Control Server	Remote Control	Remote Control Server

コンピュータ	インストールするアプリケーション	インストールするアプリケーションコンポーネント (推奨)
ターゲットコンピュータ	Desktop Agents	全コンポーネント

 注意:

必要なコンポーネントのみをインストールしてください。

3 | 旧バージョンからのマイグレーション

InfraCenter for Workgroups 2.0.1からバージョン4.2.0へのマイグレーション

AssetCenter 3.0.2からAssetCenter4.2.0へのマイグレーションと同じ要領で、InfraCenter for Workgroups 2.0.1からバージョン4.2.0へのマイグレーション作業を行います。

詳しくは、AssetCenter 4.2.0のマニュアル『マイグレーション』を参照してください。

InfraCenter for Workgroups 3.0.0からバージョン4.2.0へのマイグレーション

以下の手順に従って、マイグレーション作業を進めます。

- 1 旧バージョンのInfraCenter for Workgroupsの各アプリケーションのバックアップコピーを作成します。
- 2 以下に挙げる旧バージョンのアプリケーションをアンインストールします。
 - Connect-It

- Remote Control
 - InfraCenter for Workgroups Online
- 3 AssetCenter 3.6.0からAssetCenter4.2.0へのマイグレーションと同じ要領で、マイグレーション作業を行います。
- 詳しくは、AssetCenter 4.2.0のマニュアル『[マイグレーション](#)』を参照してください。
- 4 はじめてのインストールと同じ要領で、次のアプリケーションをインストールします。
- Connect-It
 - Remote Control
 - Desktop Administration Server
 - Desktop Agents
 - AssetCenter Web
- 詳しくは、本マニュアルの『[はじめてのインストール](#)』の章を参照してください。

4 | 導入

- 1 InfraCenter for Workgroupsの各アプリケーションの機能を把握します。
- 2 どのアプリケーションをインストールするのかを決定します。
- 3 インストールする各アプリケーションの制約点を考慮に入れつつ、必要な動作環境を指定します。
- 4 インストールの対象となるコンピュータを指定します。
- 5 少なくともAssetCenterクライアント一つをインストールします。
- 6 AssetCenterデータベースを作成します。
- 7 サーバ上に他のアプリケーションをインストールし、パラメータを設定します。
- 8 ターゲットコンピュータにエージェントをインストールします。

